

# 万引き防止啓発「リーフレット」「デジタルワークシート」を活用した指導例

小学校高学年

○授業のねらい

- (1)万引きが犯罪であることを再確認し、お店の人や家族など、周りに傷つく人がたくさんいることを理解する。
- (2)万引きに誘われた際のいろいろな断り方や止め方、また、断わりにくいときの対応の仕方について考える。

○授業の流れ (45分)

|            | 活動の内容  | 指導上の留意点  |
|------------|--|--|
| 導入<br>5分   | <p><b>1 課題意識をもつ。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフを見て小学生による万引きの検挙率が多いことを理解する。</li> </ul> <p><b>2 学習問題を確認する。</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p><b>【学習問題】 万引きを「しない」「させない」「みのがさない」ために、必要なことを考えよう。</b></p> </div>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「万引きの検挙・補導人員 学職別状況」のグラフを提示し、小学生の検挙率が一番多いことを読み取らせる。</li> </ul>  |
| 展開<br>30分  | <p><b>3 「考えてみよう①」に取り組む。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・○×クイズに答える。</li> </ul> <p><b>4 「考えてみよう②」に取り組む。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の範読後、万引きをすると周りの人がどう思うかについて考える。</li> </ul> <p><b>児童</b> 「私は『お店の人』が『困る』と思います。なぜなら商売ができないからです。」</p> <p><b>5 「やってみよう」に取り組む。</b></p> <p>①個人で考え、リーフレットに記入する。</p> <p>②隣の席やグループの児童でAからCのやり取りを役割演技（ロールプレイ）する。</p> <p>③自分の考えを全体で発表する。</p> <p><b>児童1</b> 「私は『万引きはだめだよ』と言うことにしました。万引きは犯罪だからです。」</p> <p><b>児童2</b> 「僕は『親にお願いして買ってもらおう』と言うことにしました。相手を傷つけないように注意するためです。」</p> <p>④強い心で誘いを断ることの大切さやそれでも断りづらい時には周りの人に相談することを理解する。</p> <p><b>6 「万引きだけでなく、このようなこともしてはいけません」について理解する。</b></p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・○又は×と判断した理由を発言させ、児童の多様な考えを引き出す。</li> <li>・一人1台端末を活用して、リーフレットに掲載していない他の○×クイズに取り組む。</li> <li>・万引きがどのような罪になるのか事例を使って紹介する。</li> <li>・「誰」が「どう思うか」を発問し、「なぜそれを選んだか」と理由も問いかけ、考えさせる。</li> <li>・万引きをすると、その後、店から警察へ通報することになっていることを伝え、うえて記入させる。</li> <li>・自分の考えた行動の仕方で演技をした後、なぜそのように考えたのかを発言させる。</li> <li>・役割演技を見ている児童にも自分ならどうするか問いかけ、発言させる。</li> <li>・多様な対応の仕方があることに気付かせる。<br/>その他の例「(突然そんなこと言われて)びっくりしたよ。」<br/>「今すぐ答えられないよ。」など</li> <li>・困ったときは一人で悩まず、家族や大人、相談機関に相談することを伝える。また、名前を言わなくても良いことを伝え、相談の第一歩を踏み出しやすくする。</li> <li>・児童が行ってしまいがちな行為を例に挙げ、友達や人の物を勝手に使うことも犯罪であることを伝える。</li> </ul> |
| まとめ<br>10分 | <p><b>7 学習を振り返り、まとめをする。</b></p> <p>先生「万引きを『しない』『させない』『みのがさない』ために、どのようなことが必要でしょうか。」</p> <p>「それを今後の日常生活の中で、どのように生かしていきますか。」</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人で考えさせた後、一人1台端末を活用して学級全体で考えを共有して、多様な考えに触れさせる。</li> <li>・児童の言葉を大切にしながら、学習をまとめる。</li> <li>・児童の実態等に応じて、万引き防止啓発作品（標語・イラスト・4コマまんが）の作成等、まとめ方を工夫する。</li> </ul>   |